

アコウの木と共に ゲストをおもてなし



五島市小泊町
あこうハウス オーナー
サットン・ニコラスさん

堂崎天主堂キリシタン資料館
五島列島酒造
福江港
山本二三美術館
Restaurant城-JO-(P8)
下崎山のヘトマト行事
鬼岳
山口Farm(P8)
あこうハウス
やまぐちファームのお肉屋さん(P8)

人生で「一番の仕事」と話します。

木と一緒に思いがけず手に入れた空き家は築160年ほど。当初は何に使えるのか未知数で、不安でいっぱいでした。世界中を旅した経験を生かし、ゲストハウスとしての活用を模索。地元の人などの協力を得て、古民家の風情を残しつつ現代風にリノベーションし、4部屋・定員15人で一棟貸し切りができる「あこうハウス」を2023年6月にオープンしました。宿泊客や地元の皆さんが集い、五島の自然や文化を楽しむ拠点に。そんな思いで、同市教育委員会で働 きながら、あこうハウスや英会話教室、マリナクティブティー事業の運

営に汗を流しています。

オープンから2年。国内外から訪れるゲストは、サットンさんが守ったアコウの木を眺めながらゆったりとした時間を過ごします。最近では地元のイベントなどに活用されるようになりました。今後は、五島の自然をより近くに感じられ、地元の人ともつながれるような体験事業を充実させていきたいと考えています。「五島にはアメリカ人のような『やってみようスピリット』を持っている人が多い。これを大事にして、みんなで五島を盛り上げたいね」。サットンさんの挑戦をアコウの木が見守っています。

表紙のコト

堂崎天主堂キリシタン資料館



観光ガイド団体「アクロス五島」の方々

1873年にキリシタン禁教が解かれ、堂崎地区には1880年に五島初の木造天主堂が建立されました。現在の赤レンガ造りの教会は1908年に完成し、日本二十六聖人に捧げられています。堂内は信仰の歴史をひもとく資料館としても一般公開されています。

歴史や文化、自然を感じるスポットを案内する「アクロス五島」の山口理事長は「冬も教会めぐりや2月、3月に開催される椿まつりなど見どころはいっぱい」と冬の五島観光の魅力を話してくれました。

ところ 五島市奥浦町2019

営業 9時～17時

※11月11日～3月20日は16時閉館

※夏休み期間中は18時閉館(8月13～15日を除く)

※12月30日～1月3日休館

☎ 0959-73-0705

地元の麦、芋にこだわる焼酎蔵



大賞を受けた「180mlアソートセット5A」は手土産や飲み比べに最適。スマートなデザインも魅力的です

五島列島酒造

焼酎原料の大麦・サツマイモは100%地元産。小さな蔵なので大量生産はできませんが「五島らしさ」にこだわっています。椿の花酵母の「五島椿」や、かんころ餅の原料にもなる甘い芋を使った「五島芋」などの焼酎詰め合わせは「長崎デザインアワード2023」の大賞を受賞しました。

ところ 五島市三井楽町濱ノ畔3158

☎ 0959-84-3300

※「180mlアソートセット5A」はJR長崎駅かもめ市場や五島つばき空港売店などでも販売

杜社 谷川友和さん



銀色に輝く 五島列島の味「キビナゴ」



銀色に輝くし模様美しいキビナゴ。水揚げ後、氷で締めて出荷されます

鯛福丸水産

五島列島は日本有数のキビナゴの産地です。産卵前で身が大きい5～6月と脂が乗る11～1月が旬。福江魚市場の仲卸業者、鯛福丸水産は主に島外に出荷。ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。「キビナゴは鮮度が命、取れたてを刺身でいただくのは格別。来島して味わってみて」(同社の永田社長)

ところ 五島市上大津町183-1
(仲卸のみ。小売りはしていません)

☎ 0959-72-2586

※キビナゴの刺身や鍋料理「いりやき」は島内の飲食店で味わうことができます

社長 永田和也さん



地域のニューストピックを紹介

8基の浮体式洋上風車、1月稼働へ

五島市崎山沖に国内初の浮体式洋上風力発電施設の整備が進んでいます。来年1月の稼働に向け風車が試運転に入りました。8基の風車が全て稼働すると、一般家庭約1万4,400世帯分の電力をまかなえる計画です。完成すれば五島市の再生エネルギーの比率は、太陽光などと合わせ現在の60%から80%近くまで向上します。



下崎山のヘトマト行事



下崎山地区に伝わる小正月行事。1月第3日曜日に、男衆が女性を乗せた大草履を担いだり、わら玉を激しく奪い合ったりして、子孫繁栄や豊漁豊作などを祈願。集落は独特の熱気に包まれます。国指定重要無形民俗文化財です。

山本二三美術館



五島市出身で数々の名作アニメーションを手掛けた作家、山本二三氏の絵画を展示。建物は1863年に建てられた武家屋敷「松園邸」。五島の風景を描いた「五島百景」を通じ、文化や自然を伝えていきます。